

# 令和 7 年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

## 八重山地域における適期外植栽試験について

令和 7 年 6 月 11 日(水)

本県の植栽事業(新植)は、原則 10 月から 3 月とされており、暑い夏が過ぎ降雨量が増え始める 1 月から 3 月の間によく行われている。またこの時期は、2 回目の下刈りや、9 月から出始める松くい虫被害木の伐倒駆除等が盛んになる時期でもある。このため 1 月から 3 月は本県の森林施業の多忙期となっており、逆に 4 月から 6 月は新たな年度が始まったこともあり森林施業は少ない。

そこで、県では令和 5 年度から年間を通じた労働時間の平準化を図るため、コンテナ苗やポット苗の適期外植栽試験を行っている。

今回、石垣島における 2 箇所目の適期外植栽試験地として石垣市平得にある県営林において、リュウキュウマツ、ヤエヤマシタン、アカギ、リュウキュウコクタン、テリハボクのポット苗を 125 本植栽した(面積: 0.042ha、植栽密度: 3,000 本/ha)。

しかし、今年は 6 月 8 日に梅雨明けしたとみられ、これは 1951 年の統計開始以降 2 番目に短いとされている非常に厳しい条件となってしまった。

県森林管理課、県八重山農林水産振興センター、県森林資源研究センターの職員及び研究員は、炎天下の中、植栽を行うこととなった。

天気予報では翌日には雨が降る予想となっている。

次の活着確認調査は、一カ月後を予定しており、頑張って植えた苗がしっかりと根付いてくれるのを祈るばかりである。



(報告者: 森林管理課 仲里・平田 八重山農林水産振興センター 比嘉・井口・砂川、  
森林資源研究センター 久高・小菅)